



昨年の会場風景

平成24年 6月 1日 (金)
あいち産業科学技術総合センター 瀬戸窯業技術センター
製品開発室
担当 寺井、伊藤
電話 0561-21-2116
愛知県産業労働部産業科学技術課 管理・調整グループ
担当 加藤、山口
内線 3381、3388
ダイヤルイン 052-954-6347

「陶&くらしのデザイン展2012」を瀬戸蔵で開催します

—あいち産業科学技術総合センターをはじめ全国の試験研究機関が出展—

あいち産業科学技術総合センターをはじめ、陶磁器に関する全国の公設試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集めて公開展示する「陶&くらしのデザイン展^{※1}2012」の本展^{※2}を、7月5日(木)から11日(水)までの7日間、瀬戸蔵(瀬戸市)で開催します。

展示会では、陶磁器を中心とした食器やインテリア用品が展示され、あいち産業科学技術総合センター瀬戸窯業技術センターからは、^{はなまつり}花祭^{※3}を中心に東三河・奥三河の民俗文化財にスポットを当てた「観光関連商品」や、産地の組合を支援し「道の駅瀬戸しなの^{※4}」向けに開発した「瀬戸焼そば用皿」等の新商品、^{きじ}素地と^{うわえゆうやく}上絵釉薬の同時焼成や素焼工程後の加飾も可能な「低温焼成セラミックスの加飾技術」及び地元陶磁器業界が瀬戸焼新製品開発の参考資料とする「瀬戸焼創作図案」を出展します。

その他にも今回の展示会では、本年度内にも閉所することとなった、独立行政法人産業技術総合研究所中部センター瀬戸サイト^{※5}の収蔵品・試作品の一部を展示する特別コーナーも併設されます。

1 展示会の概要

(1) 名称

陶&くらしのデザイン展2012

(2) 会期

平成24年7月5日(木)から7月11日(水)までの7日間
午前10時から午後6時まで(最終日は午後4時まで)

(3) 会場

瀬戸蔵(4階多目的ホール)

〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL0561-97-1555

(4) 入場料

無料

(5) 出展機関

陶磁器に関する全国の公設試験研究機関11機関(別掲)

(6) 展示内容

陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案（開発コンセプトや製品アイデア）など、全国の試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と共同で開発した成果品を展示します。

人と環境にやさしいものづくりや地域ブランドの確立に向けた意識が高まりを見せる中、それぞれの産地が目指すべき技術課題やテーマに沿って開発に取り組んだ成果を展示します。

(7) 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム※6

(8) 共催

瀬戸市、瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会
あいち産業科学技術総合センター瀬戸窯業技術センター

2 あいち産業科学技術総合センター瀬戸窯業技術センターの出展内容

- ・「東三河・奥三河の民俗観光関連商品」
- ・「『道の駅瀬戸しなの』向け新商品」
- ・「低温焼成セラミックスの加飾技術」
- ・「瀬戸焼創作図案集」



「東三河・奥三河の民俗観光関連商品」
花祭記念品：湯飲み



「『道の駅瀬戸しなの』向け新商品」
瀬戸焼そば用皿



「低温焼成セラミックスの加飾技術」
ノベルティ



「瀬戸焼創作図案集」

(参考) 出展機関 (11機関)

独立行政法人産業技術総合研究所サステナブルマテリアル研究部門
茨城県工業技術センター窯業指導所「匠工房・笠間」
岐阜県セラミックス研究所
土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐
瑞浪市窯業技術研究所
あいち産業科学技術総合センター 瀬戸窯業技術センター
三重県工業研究所 窯業研究室
福井県工業技術センター
滋賀県工業技術総合センター 信楽窯業技術試験場
京都市産業技術研究所
長崎県窯業技術センター

【用語解説】

※1 陶&くらしのデザイン展

この展示会は、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に、昭和39年に陶磁器試験研究機関作品展として発足し、その後、陶&くらしのデザイン展へと名称が変更になりました。今回は通算で49回目の開催となります。

※2 本展

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されています。

本展は、その年の最初に開催される規模の大きなイベントです。本展が瀬戸で開催されるのは7年連続7回目です。

巡回展は、本展開催後に全国を巡回する展示会で、今回は8月、10月に次の窯業地を巡ります。

○京都展：平成24年8月1日(水)～8月4日(土) 午前9時～午後5時

場所：京都市産業技術研究所

○岐阜展：平成24年10月20日(土)～10月22日(月) 午前10時～午後5時

場所：セラミックパーク MINO

※3 花祭

700年以上前から天竜川流域の愛知県内17ヶ所で伝承されてきており、国の重要無形民俗文化財第1号の指定を受けた、三河山間地域を代表する伝統芸能です。

※4 道の駅瀬戸しなの

東海環状自動車道せと品野ICよりほど近く、四季を通じて人気の観光地、愛知高原国定公園「岩屋堂」、「定光寺」へのアクセスも便利です。遠くからも一目でわかる大きな煙突が目印の建物は、レンガ張りのおしゃれなデザインで、やきもののまち・瀬戸らしさを表現しています (中部の「道の駅」瀬戸しなの http://www.cbr.mlit.go.jp/michinoeki/syousai/aichi/a_14.html より)。

※5 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター瀬戸サイト

瀬戸サイト（分室）の前身は大正8年に京都市の陶磁器試験場が設立され、東海支所は瀬戸市立窯業試験場が昭和8年に国へ移管されて陶磁器試験所瀬戸試験場となった後、同23年に東海支所と改称。同27年に陶磁器試験所と機械試験所名古屋支所および東京工業試験所 名古屋支所の一部を統合して名古屋工業技術試験所となり同時に瀬戸分室に名称変更し、平成13年 産業技術総合研究所 中部センター 瀬戸サイトととなり今日に至っています。その業績は数多くあり、開発した釉薬や素地は現在も企業で受け継がれ、窯業業界に大きな功績を残しています。また、研修生の受け入れ制度もあり、その卒業生の中には高名な陶芸作家の方もいます。

※6 陶&くらしのデザインコンソーシアム

陶磁器、ガラス、金属、紙などの素材を活用した、くらしに関わる用品のデザインや製造技術に関する情報発信、技術交流を目的に、独立行政法人産業技術総合研究所が中心となって、全国の主な陶磁器産地の試験研究機関や業界団体が、平成17年に組織したコンソーシアム(共同事業体)で、デザイン展の開催や研究発表などを実施しています。

陶&くらしのデザインコンソーシアム事務局

独立行政法人 産業技術総合研究所 中部産学官連携センター

〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ケ洞 2266-98

電話:052-736-7370 FAX:052-736-7403

